

Online Symposium

Let's Talk About the 14th United Nations Congress on Crime Prevention and Criminal Justice.



You,
Unlimited



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

Date

2021. 3.12 金曜
1:00pm-4:30pm

Place

オンライン Zoom

参加無料 定員200名 申込不要

みんなで話そう京都コンGRES2021 ～龍谷コンGRESに向けて～

対人支援によって再犯防止をめざす、市民の、市民による、市民のための
龍谷独自の刑事政策構想（龍谷コンGRES・テーゼ）の構築に向けて

Zoom参加情報

[https://us02web.zoom.us/j/83118037894?
pwd=ZDh2dUVRdzlrWnlmbWFXa3VzYVZtZz09](https://us02web.zoom.us/j/83118037894?pwd=ZDh2dUVRdzlrWnlmbWFXa3VzYVZtZz09)

ミーティングID: 831 1803 7894

パスコード: 400585

主催：龍谷大学 犯罪学研究センター

[TEL] 075-645-2184 [FAX] 075-645-2240

[E-mail] crimrc.ryukoku@gmail.com

[URL] <https://crimrc.ryukoku.ac.jp>

[Twitter] @Ryukoku_CrimRC

※裏面の留意事項を必ずご一読ください。

Online Symposium on Criminology 2021 Spring

2021. 3.12 金曜
1:00pm-4:30pm

みんなで話そう京都コンGRESS2021 ～龍谷コンGRESSに向けて～

グローバルな視点で犯罪防止や刑事司法について理解を深めることを目的に、「刑事政策の過去・現在・未来」について共に考えます。

主催：龍谷大学 犯罪学研究センター

企画趣旨

1970年8月、京都において国連犯罪防止刑事司法会議（コンGRESS）が開かれてから半世紀。2021年3月7日～12日、ふたたび京都において「第14回 国連犯罪防止刑事司法会議（京都コンGRESS）」が開催されることになりました。

これまで犯罪学研究センターは、この京都コンGRESSを意識しながら、「人にやさしい犯罪学」をモットーに、対人支援を基軸とした科学的証拠に基づいた犯罪学を構築し、日本国内だけでなく、広く世界に海外にアピールすることを目的に研究活動を展開してきました。

本シンポジウムでは、「刑事政策の過去・現在・未来」をテーマに、京都コンGRESS・サイドイベントを企画した研究者やユースフォーラム参加学生をゲストに迎えます。そして、市民の視点で捉える京都コンGRESSの開催意義をはじめ、当センターの目指す新時代の刑事政策構想について、参加者の皆さまと一緒に考えます。ぜひふるってご参加ください。

プログラム

- ・ 司会進行：古川原 明子（本学法学部 准教授）
- ・ 開会挨拶：津島 昌弘（本学社会学部 教授）

■第1部 「京都コンGRESS報告 ～2020年会議に参加して～」

- ・ 話題提供 「京都コンGRESS・ユースフォーラムに参加して」
報告者：ユースフォーラム参加学生（本学 法学部生）
- ・ 話題提供 「京都コンGRESS・サイドイベントを主催して」
報告者：宮澤 節生（神戸大学名誉教授）・平山 真理（白鷗大学 法学部教授）

■第2部 「コンGRESSの過去、現在、そして・・・」

- ・ 話題提供 「50年前の京都コンGRESSとは何だったのか？」
報告者：石塚 伸一（本学 法学部教授・犯罪学研究センター長）
- ・ 話題提供 「刑事政策における国際協調：国連犯罪防止刑事司法委員会（コミッション）と国連犯罪防止刑事司法会議（コンGRESS）との関係（仮）」
報告者：浜井 浩一（本学 法学部教授・矯正・保護総合センター長）

■第3部 「みんなで話そう龍谷・犯罪学」

- ・ 話題提供 「龍谷コンGRESS・テーゼに向けて」
報告者：赤池 一将（本学 法学部教授）

・ ディスカッション

テーマ（予定）：

- 研究と政策提言～エビデンスをめぐる現状
- 研究と社会課題～ソーシャルアクションに向けて
- 研究と国際協力～グローバルな視点で考える

【留意事項】

- ✓ プログラムは、一部変更となる場合があります。
- ✓ 同時に最大200名まで参加可能（Zoom入室先着順）
- ✓ 当センターの資料としてレコーディングし、後日一部公開する可能性があります。その場合、登壇者および当センター関係者以外は個人が特定できないように加工します。

Shall we do
Criminology?



Ryukoku
CrimRC

龍谷大学
犯罪学研究センター

